

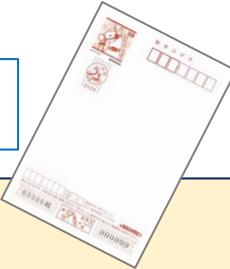
令和7年12月のしろくま薬局“壁新聞”

年賀状の発行枚数は年々減少しています



年賀状は“年始の挨拶”として日本の分化に定着しています。近年はメールやSNSでの年始の挨拶も増えており、2024年の国民1人当たりの年賀状販売枚数は約9枚です。

令和7年(2026年)は
午年です



年賀状の歴史は古く、平安時代までさかのぼるそうです

- 郵便はがきは明治6年(1873)に発行が始まり、明治20年(1887)頃には年賀状も激増しています
- 当時は、元旦の消印が大人気で、元旦の消印を狙って年末に投函する人が増えており、担当者は不眠不休で作業していたそうです
- 明治32年(1889)に、現在と同様の「年末のうちに受け付けて元旦に配達する」年賀郵便の特別扱いの制度が始まっています
- 年賀状の発行は明治38年(1905)に約1億枚で、平成16年(2004)の44億5千万枚がピークです

「お年玉付き年賀はがき」が発行されたのは昭和24年(1949)12月です



初回の特賞は「ミシン」でした

平成26年(2014)から1等の商品は「現金」です (個人の好みが多様化した世相を反映している)

令和8年(2026年)用の
1等の商品

- i) 現金30万円
- ii) 電子マネーギフト(31万円分)
- iii) 2025年発効特殊切手集 + 現金20万円

いずれかから
選べるそうです

「春バテ」「夏バテ」「秋バテ」「冬バテ」とそれぞれの季節に身体がバテる要素はあります



「冬バテ」の要因は

- 寒さで血流が悪くなり
→疲れが抜けにくくなる
- 特に12月は温度変化や
年末の忙しさで
→自律神経が乱れがちになる



「冬バテ」の対応の基本は

- 温める(体の土台を作る) 身体を温めると自律神経がホットします
- バランスよい食事 温かい食事は体のエネルギーをめぐらせます
- 身体を動かす 動くことで血流と体温を保ち、心も軽くなります
- 光を浴びる 朝の光が体のスイッチを入れます(セロトニンが分泌される)
- 休む 眠りは副交感神経優位で、交感神経を休ませバランスをとります

JPS 葛根湯液



しろくま薬局のおすすめ

【機能・効果】
感冒の初期、
鼻かぜ、鼻炎
頭痛、肩こり、
筋肉痛、
手や肩の痛み



葛根湯液はお湯で割って
温かくして飲むと
より効果的です

オンライン
服薬指導

LINEだからOK
職場でもOK

仕事 子育て 飲み会

01 LINE友だち追加
希望の店舗にLINEを
あとで追加し予約

02 オンライン
平日午後になつたら
ビデオ連絡で服薬指導

03 お薬の配達
お薬に間に合ったお薬を
翌日お届け